(報道用資料)

発信元/株式会社 谷沢製作所 担当:宮崎

東京都中央区新富 2-8-1

TEL: 03-3552-5581

プレスリリース

谷沢製作所グループの開発部員3名が、「平成31年度 科学技術分 野の文部科学大臣表彰」の「科学技術賞(技術部門)」を受賞

衝撃吸収性と通気性を向上させたヘルメット内装「エアライト」の開発で

産業用ヘルメットメーカー、㈱谷沢製作所(東京都 中央区新富 2-8-1、谷澤和彦社長、03・3552・5581) グ ループの開発部員3名が、「平成31年度科学技術分野 の文部科学大臣表彰」において、「科学技術賞(技術部 門)」を受賞することになりました。

受賞対象は、衝撃吸収性と通気性を向上させたヘル メット内装「エアライト」の開発です。

受賞者は、㈱谷沢製作所の開発・製造部門を担う 100%子会社、㈱常磐谷沢製作所(東京都中央区新富 2-8-1、谷澤和彦社長) に所属する3名です。

崔 成根(茨城工場 工場長)

鈴木昭吉 (茨城工場 品質管理部長)

請川武史(茨城工場 開発部 開発課主任)

授賞式は4月17日(水)に文部科学省で行われます。

(従来のヘルメットの欠点)

労働安全衛生法に基づく「保護帽の規格」には、産 業用ヘルメットとして「飛来・落下物用」と「墜落時 保護用」の二通りが定められています。墜落時保護用 ヘルメットを構成する衝撃吸収ライナーとして、従来 は発泡スチロールなど、合成樹脂の発泡材が用いられ てきました。発泡材はたいへん優れた衝撃吸収材です が、狭いヘルメット内部を占有するために、内部に流 入する風の流れを阻害します。さらに、その高い断熱 性ゆえに、頭部から生じる熱を内部に滞留させます。

このため、特に汗をかき易い夏場は、ヘルメット内 部が常に蒸れた高温状態となるため、着装感が不快な だけでなく、熱中症の危険も増します。また、集中力 を欠いて、不安全行為につながる場合もあります。

(当社開発品「エアライト」の特徴)

これに対して、ヘルメット内装「エアライト」は、 合成樹脂製の六角柱の衝撃吸収体「ブロックライナー」 を内装体と一体成形して衝撃吸収ライナーとしたもの で、発泡材を用いない墜落時保護用ヘルメットとして は、我が国で初めて「保護帽の規格」に基づく検定を 取得しました。

六角柱の衝撃吸収体を帽体内部に適正配置すること により、ヘルメット全周囲での衝撃吸収性能は、従来 と同等かそれ以上です。

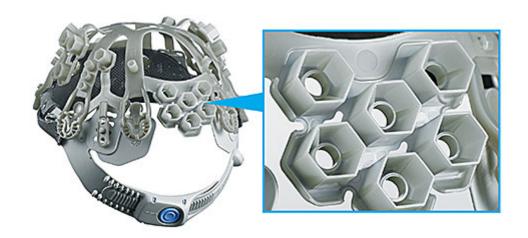
また、発泡材を用いた従来の同型ヘルメットに比べ て、ヘルメット内部の空間体積は約1.5倍増えました (ST#161 型での比較) ので、風が吹く場所で使用した り、ゆっくり歩行したりすると、顔面に当たった空気 が衝撃吸収ライナーに邪魔されることなくヘルメット 内部を流れ、内部が蒸れにくくなりました。

さらに、汗や泥で汚れたヘルメットを洗浄する場合、 従来は発泡材表面の汚れが取れにくいだけでなく、発 泡材裏側の水滴がなかなか乾燥しないため、いやな臭 いが残りがちでした。「エアライト」付きのヘルメット はそもそも発泡材の部品がないだけでなく、内部が乾 きやすいため、臭いが残りにくくなりました。

(「エアライト」の現状)

「エアライト」を装着したヘルメットは、2014年7 月の発売以来、「産業用ヘルメットの常識を超えるヘル メット」として、ユーザーの皆様から大好評をいただ いています。発売当初、3型式でスタートしましたが、 現在は30型式を販売し、累計販売個数も270万個を超 えました。

今回の栄えある受賞は、「エアライト」の新規性と独 自性を評価いただいくとともに、ユーザーからの幅広 いご支持のたまものと深く感謝しております。



衝撃吸収性と通気性を向上させたヘルメット内装「エアライト」(左)と 六角柱の衝撃吸収体「ブロックライナー」の拡大写真(右)



ヘルメット内装「エアライト」を装着したヘルメット ST#161-JZ 型

(参 考)

文部科学省のプレスリリース

 $\underline{\text{http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/31/04/1415044.htm}}$

■ お問合せ先:株式会社 谷沢製作所 〒104-0041 東京都中央区新富 2-8-1 http://www.tanizawa.co.jp/ TEL:03-3552-5581 営業部 広報担当/宮崎まで